



世界に希望を生み出そう

帯広西ロータリークラブ

第2469回例会

会報

2024.3.21



■RI第2500地区スローガン■

今こそ変わる勇気を！
さあ、一步前へ

■クラブ・テーマ■

皆に希望と笑顔と愛を！
ロータリーを楽しみながら活動しよう！

ゲスト紹介
帯広市危機対策課
係長 高田 敦史 様

天野 清一 会長



米山功労者の発表
米山功労者 第1回

伊藤 公康 SAA
松田 貴史 会員



ロータリー財団功労者の発表

マルチプル・ポール・ハリス・
フェロー 5回目
マルチプル・ポール・ハリス・
フェロー 4回目
マルチプル・ポール・ハリス・
フェロー 3回目
マルチプル・ポール・ハリス・
フェロー 3回目
ポール・ハリス・フェロー 1回目
ポール・ハリス・フェロー 1回目

伊藤 公康 SAA
太田 一也 会員
佐藤 聡 会員
飯田 正行 会員
若林 剛 会員
河合 敏 会員
平田 宗利 会員



会長報告

天野 清一 会長

会長報告をさせていただきます。会長報告も
だんだん底をついてきてまして、何についての話
をするかと思って、一生懸命色々とあさっては
おります。たまたまジェット機のこと、先日記
事が載ってましたので、ちょっとお話させて
いただきたいと思います。



本日は、国内で初めて国際規格基準の持続可能な
ジェット燃料の開発に成功したという話がありました。ア
フターコロナと言われる現在、航空旅客業界は、コロナ禍
前を超える回復をみせております。旅客機の中でも長距
離大型輸送を行うジェット機は、数万リットルという膨大
な燃料が必要となります。そのため二酸化炭素や温室効
果ガスの排出削減が求められる中、持続可能な航空燃料
を意味するSAF(サブ)という開発が活発化しているよう
です。SAFは再生可能なまたは廃棄物を原料とし、CO2
の排出量を大幅に削減できる燃料とされ、国際規格があ
る既に海外では規格を遵守した燃料の製造が始まってい
るようです。日本でも国産化が求められる中、国内で初め

て動植物性油脂を原料とする国際規格に適合したSAFの
開発に成功したことを、新エネルギー産業技術総合開発
機構などが発表いたしました。NEDOが国内の企業や大
学と共同開発を進め、開発されたSAFは航空用ジェット
燃料に関する国際規格に適合しているようです。廃食油や
植物油など動植物の油脂を原料とし、水素化により燃料
を製造する技術に関する規格で、今回のSAFは使用済み
の天ぷら油を原料としました。今後は試験用工場を造り、
安定した運転を目指して実証実験を進めるといふ。国際
航空輸送業界では、2050年にCO2排出をネットゼロに。
日本では2030年までにエアラインによる燃料使用量の
10%をこの燃料に置き換えるということを目指している
ようです。このように燃料の方もだんだんと変わってきま
して、車の燃料の方も植物の軽油で走ってますけど、ガソ
リンなどもこういうふうになっていくのかなと思ってお
ります。以上、会長報告とさせていただきます。

会務報告

立崎 貴之 幹事

①RI第2500地区第6分区都市連合会(IM)開催
のご案内
日時 3月30日(土)
12:00 ~ 12:30 帯広RC例会セレモニー
12:30 ~ 13:00 登録受付
13:00 ~ 13:40 開会式
13:40 ~ 15:10 講演:クラブ発表Part1
15:20 ~ 16:50 講演:クラブ発表Part2
17:00 ~ 17:20 閉会式
17:40 ~ 19:10 懇親会



場 所 ホテル日航ノースランド帯広
※尚、帯広南RC、3月25日(月)の繰下げ例会と致します。
帯広東RC、3月26日(火)の繰下げ例会と致します。
帯広RC、3月27日(水)の繰下げ例会と致します。
帯広西RC、3月28日(木)の繰下げ例会と致します。
帯広北RC、3月29日(金)の繰下げ例会と致します。

②帯広南RC、4月8日(月)の例会は、休会と致します。
③帯広南RC、移動例会開催のご案内
日時 4月15日(月)午前11時
場 所 帯広簡易裁判所
④帯広西RC、移動例会開催のご案内
日時 4月18日(木)午前11時30分~入門
場 所 陸上自衛隊帯広駐屯地
11:30 ~ 12:00 入門(東門)駐車場へ
12:00 ~ 12:30 体験喫食(昼食)隊員食堂へ
12:30 ~ 12:40 移動
12:40 ~ 13:00 例会、概況説明



Rotary 会長 天野 清一 副会長 上野 裕司 会場監督理事 伊藤 公康 発行: 広報委員会
幹事 立崎 貴之 副会長 柳沢 一元 プログラム委員理事 近藤 真治 委員長 板倉 利幸 (副) 朴 昌人

例会日/木曜日 12時30分~13時30分 例会場/北海道ホテル 帯広市西7条南19丁目1 (TEL 21-0001)
創立/1972年2月24日 事務局/帯広経済センタービル東館3階 TEL 25-7347 (直通) FAX 28-6033

13:00 ~ 13:20 装備品等見学
13:20 解散

⑤帯広北・帯広東・音更、3RC合同例会開催のご案内(十勝ロータリー奨学会支給式)
日時 4月24日(水)午後6時30分
場所 ホテル日航ノースランド帯広
※尚、帯広東RC、3月23日(火)の繰下げ例会と致します。
帯広北RC、3月26日(金)の繰上げ例会と致します。

⑥その他
ガバナーノミニージェグネートについて、RI2500地区よりガバナーノミニージェグネートの指名があったというご案内が来ております。この後回覧を回しますので、つきましては3月26日までに、異議のある方は私の方にお知らせいただきたいと思ひます。

委員会報告 若林 剛 地区研修・協議会実行委員長 地区研修・協議会について

各クラブの登録のほうがかぼ締まってまいりました。登録のほうがか655になりました。紋別の時が570~80でしたので、一割以上多くなります。西クラブは委員長の方のみ登録していただきますので、それ以外の方はお手伝いということで、そういう方の人数も加えると720~30名を本会議の方にご案内することになります。それから分科会の方も同じようにほぼ同じ人数がかちプラザの方で分科会をします。途中の食事について、第1分科会がかちプラザのホールでやりますので、そこでは食事ができません。210名ぐらいいをノースランドのホールの会場で、本



会議が終わった後に椅子を片付け、テーブルを出して食事をしていただきます。そのお手伝いが一番大変だと思います。本会議に出席義務者ではない西ロータリーのメンバーの皆さんは、そこに向けていろんな役割分担があつて、各部会や委員会ごとに仕事をやってもらわなければいけないんですけれども、特にそのピークの部分には協力の程宜しくお願ひしたいと思ひます。

ニコニコ献金 中島 良太 親睦活動副委員長 郷 誠一 社会奉仕委員長

本日担当例会です。よろしくお願ひします。高校生の娘が英検二級合格と息子の高校受験、第一志望に奇跡的に合格することができましたので、2回分ニコニコさせていただきます。



江口 文隆 会員
麻雀クラブつみ木、昨日4年ぶりの満席満員御礼のニコニコします。

柳沢 一元 副会長
先日、競馬場でサングラスをかけて武藤敬司と並んでいたら、何人かに蝶野正洋に間違えられました。

中島 良太 親睦活動副委員長
私、発表させていただきますので、ニコニコをさせていただきます。

ニコニコ	3月21日	10,000円
献金	累計	490,000円 (3月21日現在)

プログラム

今年入ってすぐに災害がおきまして、それを踏まえてもう一度皆さんに会社なり個人なりで防災意識を高めていただこうと思ひまして、帯広市ふれあい市政講座の方から防災ということで、危機対策課の係長の高田様をお呼びしまして、ご講話いただきたいと思ひますので、よろしくお願ひいたします



「防災について」

帯広市危機対策課 係長 高田 敦史 様

ただ今ご紹介いただきました、帯広市危機対策課の高田と申します。本日はよろしくお願ひいたします。危機対策課は、令和2年に発足しました。それまで総務課の防災係と一つの係だったんですけども、最近やっぱり災害が激甚化頻発化してきて、やっぱり課として一つの体制をあげようということで、令和2年度から係長として赴任させていただきました。今日内示があつて異動になりました。今日は私のラストダンスですので、是非お付き合ひいただきたいと思ひます。今日防災ということだったんですけども、必ず今お伝えしているのは、弾道ミサイルの話。弾道ミサイルといいますが、国民保護ということなんですけれども、テロとかゲリラとかはその防災ではない人が人為的にやる攻撃に対する対応なんですけども、ちょっと物騒かとは思ひますが、こういったことへの備えというのも大事になってきます。今よくミサイルでアラート鳴ったりしますけれども、どうしたらいいのってなります。地下なんてないじゃんかかってなるんですけども、なかなか難しいです。その時々状況に応じて正しい行動を取るのは難しいと思ひます。ですので、正解の行動っていうのは覚えると難しいので、その場で取れる最善の行動を選択できるようにしていただきたいというのが、まず一番最初にお伝えしておきたいことで、これは防災の行動も一緒です。正解はないと思ひています。ただ、間違いの行動っていうのはあるので、やってはいけないことを知っておくということが大事になるかなと思ひます。これが前置きとしてさせていただきます。あと皆さんに是非確認して頂きたいことがありまして、去年の4月にアラートが鳴りましたけれども、スマートフォン多分皆さんお持ちだと思ひますが、鳴ってない人っていらっしゃいますか?いらっしゃらなければ大丈夫だと思ひますけれども、アラート大津波警報とか緊急地震速報とか弾道ミサイル情報もこれになります。これ後で説明するんですが、市役所からの避難指示とかも、アラートは違う系統なんですけども、緊急速報として流せます。



それを確実に受けていただくために、皆さんにこのアラートを受けられてますかというのを確認しました。いよいよ防災の方に入りますけれども、今日は皆さん経営者の方であつたり、事業所で責任のある立場の方々がいらっしゃっていると思ひます。皆さんにやっぱり体は一つなんですけども、それぞれ立場があると思ひます。家に帰ればお父さんとかお母さんとかおじいちゃん、おばあちゃんだったりとか、地域では町内会の役員をやっていたりとか、職場ではやっぱり責任のある立場だと思ひます。災害がどの立場の時に発生するかっていうのはわからないんですけれども、基本的に最初に申し上げましたけれども、優先すべき事をクリアにしておけばまず動きやすいかなと思ひていて、当たり前の話ですけども、財産よりも命。それから他人のお世話をするよりも、自分のことをまずしっかりやれるようにしていただきたいと思ひます。職場事業を回さなきゃいけないとか、会社を守らなければならないっていう風になると思ひますけれども、そのためにはまず自分の身の周りをしっかり固めておかなければならないと言つてところで、災害があつたら、まず自分、それから家族、この安全を確保してから職場のことを取り組んでいただきたいと思ひます。私も自衛隊の訓練とか参加させていただいているんですけども、自衛隊の訓練で一番最初にやるのが、隊員とその家族の安否確認をしていました。というのは、その後の行動にやっぱり不安を残した人がいると活動も危ないので、しっかりとその報告をして、確認していました。ですので、職場のこととか、日本人的な感覚で言うところにかく真っ先に駆けつけて職場を守るとか、仕事を回すということが美徳みたいなところはあつたと思ひますが、それをやるためにもやっぱり自分のこと。それが自分の家族をまず大事にするということをお願ひいたします。避難災害が発生したら避難っていう言葉がすぐ頭に浮かぶと思ひます。ただ、その避難ということが意外としっかり考えたことないなあっていうことが皆さんとお話してよくありますので、ちょっと避難について分解すると言ひますか改めて考えたいんですけども、これ避難ってなんでしょうかって言われた時に、難を避

けることです。読んで字のごとく難を避けることで、難とは何かということ、水害の場合は水です。それから地震の場合、これよく勘違いされているんですが、揺れていることが難と言いますか、非難すべき事柄ではないです。揺れが終わった後にその場に居ると危険だという時に、初めて地震の避難が発生します。地震の時はその場で、とにかく身の安全を確保するっていうことが一番大事になります。能登半島地震の程度ではない地震で結構その震度5とかで怪我が出ましたっていうのをよく報道であるんですけど、ああいうのはだいたい慌てて逃げて転んで怪我してるっていうパターンです。地震の時はまずその場で安全確保。今は慌てて火を消すのもやめてくれって言われます。とにかく自分を守るとで、その後多少燃えてもその後、火を消してくれとで、そのために消火器とかをしっかりと用意してくださいというふうに言われています。それから停電、停電で避難をするかというところはあるんですが、ブラックアウトの時もあの時、まだ暖かい季節だったから良かったんですけど、今の時期も大丈夫かなと思うんですね。本当に寒い時、家にいては命にかかわるというような時も迷わず避難をしていただきたいと思えます。こうやって考えると非難なんてそんなに急いでする必要はないんですが、急がなければいけない避難もあります。それが津波と火災です。津波と火災に関してはとにかく早くその場から離れる。津波だと高いところ火災には屋外に逃げることが大事ですが、帯広で想定される水害とか地震の時の避難って考えたときには慌てて走って逃げる必要もないです。ただ、避難しましょうってなったときにはスムーズに行動ができるように準備は必要なんです、準備はしっかりできます。ちょっとその災害のフェーズと書きましたが、水害と地震で対応が異なります。地震が下のパーになりますけれども、赤いところが災害発生です。地震はとにかく一番最初に揺れが起きてから物が崩れたりして、その後救助が発生したりとか非難したりとってというのが起きます。なので地震の場合は起きてから非難をするので急ぐ必要もないです。とにかく個人レベルでは自分の身の安全を守ることが地震は大事です。ただ、水害の場合はある程度気象災害というのは天気予報で気象の先が見えます。台風の予報というのがだいたい精度が高まってくるのが3日前とかぐらいからだと思えますが、そのくらいであこれやばいなって言うのがなんとなく感覚でわかってくると思えますし、私どもも警報が出た段階ですぐ一週間に周知をします。だんだん雨が降って河川の水位が上がって、その後避難指示とか出るんですけど、災害が発生するだぶん前から災害を予測して、準備をすることができます。水害のリスクをまず把握しておくことが大事なんですけど、ここでちょっと資料に無いんですが、予備知識としてお知らせしておきたいのが、帯広のハザードマップご覧いただいたことある方はわかるんですけど、帯広ほぼ全域が水に浸かります。ただ想定というのは、千年に一度規模の雨と想定できる最大の雨の時の想定です。なので必ず洪水発生したからといって必ずあの深さになるわけではないんですけど、なり得るということを知っておいていただいて、皆さんにハザードマップで自分たちの自宅とか職場周辺のリスクを把握しておいていただきたいと思っています。ちなみに地震ですが、能登半島1月1日に起きました。震度7。阪神淡路で初めて国内で震度7を観測して、これまで7回ですね。胆振東部も震度7でした。帯広で震度7規模の地震が起きる可能性としては、今後30年以内に0.1から0.2%と言われてます。ですが起きないというわけではないです。起こりえます。一方で日本海溝千島海溝の地震、これの切迫度とか高まっていると言われてますが、あれの死者が19万2千人とか言われてますけども、その死者の大半は津波です。その時の帯広の震度の予測は6弱と言われてます。6弱だとそんなに建物がつぶれるということはないですが、どちらかという倒れてきたもので怪我をするというパターンが多いと思えます。その海溝型の地震の発生の確率30年以内に7%から40%と言われてます。要は十勝沖地震ということなんですけど、十勝沖地震がほぼ十年間隔で起きていると言われてる中で、さかのぼってみると、そろそろその十年の節目に入るかなと思ってるんですが、こればかりは分かりません。先ほど申し上げた震度7の地震に関しても千年規模の確率なんですけど、それにしてもそれがいつ起こるのかというのは予測できないので、能登半島地震規模の地震も帯広で起こりうる

ということを頭に入れておいて頂ければと思います。やっぱり家に備えがあれば。わざわざ避難所に来なくても大丈夫ですし、これ職場でもそうですし、やはり備蓄しておくっていうことが大事です。皆さん食料とかそれぞれ備蓄されていると思うんですけども、よくあるのが食糧長期保存できる5年のものを買ったから安心とかですね。防災バッグを買ったから安心ってあるんですが、結構その5年のもの買って安心して賞味期限を切らせてもったいないことをしたりとか、防災バッグの中に何が入ってるか分からないとかあるので、防災用の食べ物、ものすごく高いです。それを揃えておくのも結構抵抗がある中で、今言われているのがこのローリングストックという方法ですね。日常的に食べる、例えばさとうのご飯ですとか、レトルトのカレーとか缶詰とか、そういうものを買って揃えて、日頃からそれをちょこちょこ食べて、食べた分だけ買い足してっていうことをやると、賞味期限が切れることもないですし、そういう行動を定期的にやるということ自体が防災のことを意識することになりますので、このローリングストックという方法は非常に有効です。どれくらい用意したらいいのっていうのは最低3日分できれば一週間って言われています。最低3日分というのは、やっぱり能登規模の地震が起きた時に各機関やったり災害対応って準備はしてるんですけども、やっぱり初動っていうのはすごく混乱します。3日間って72時間ですけども、72時間ってやっぱり生存率がガクンと落ちてしまう時間と言われてるんですけども、最優先されるのはやっぱり人命救助救出っていうところに全力が注がれるので、いろんなものが命優先になってきてですね。あとはやっぱり道路の警戒とかが進まない中で、支援物資が届かない、とかっていうことがありますので、帯広市でも備蓄はしているんですけども、そうした控除的な機能が、初動、あの規模になると機能しないというのがやっぱり現実だと思います。ですので、3日間分は必ず用意していただきたいと、できれば一週間っていうところです。能登もかなり水が困ってましたけれども、これも用意しておいていただきたいんですが、防災用のものを買う必要はありません。普通のツルハとかで売ってる物で全然大丈夫です。ペットボトルで一人一日3リッターと言われてますが、3リッター飲むわけではなく、あの食事から摂る分も含めて3リッターぐらいと言われてるんですが、これ一日1箱6本で12リットルなので、1箱あれば成人の4日分だと思っていただければいいかと思えます。もしくは4人家族の1日分と思っていただいて、これを用意しておいていただきたいんですが、これもなかなか定期的に消費するのが難しいので、コツとしてはですね、冷蔵庫に1本入れておいてご飯を炊く最後のあの量をそろえるときの水をこれにすると、そうすると毎日ちょこちょこ減ってきます。無駄にはならないかなと思えます。盲点で食べ物と水は用意してるんですけど、トイレが使えないっていう事でそうすると食べたり飲んだりするのを控えます。そうすると非常に体に良くないです。やっぱ食べたら出す。それからしっかり休む。このサイクルが非常に大事なんですけども、トイレ対策が非常に大事です。ご家庭でも地震があそこまでのいなくても、例えば断水で流せないとかいうことがあります。こういうトイレの処理剤。今ホームセンターでも売ってますし、ネットでも買えます。油固めるようなあのイメージだと思うんですけど。用足して粉を振りかけるとゼリー状に固まります。ある程度匂いも吸着しますので、それを燃えるゴミで処理します。よく便器まで簡易便器まで買う方いるんですが、便器まで壊れるような災害だと、おそらく家にいれないと思えますね。そうしたとき、やっぱり避難しておいたほうが良いと思うんですけど、この袋と尿尿処理剤のセット、もしくは尿尿処理材だけというのは、袋は黒い普通のゴミ袋でも結構ですが、これを成人の一日の排尿回数5回から7回と言われてかける日数分。かける人数分ですね。用意しておくといかなと思えます。次に日用品はそんなに買いためする必要はないと思えます。プラス一個あればいいと思えます。日本人は災害になるとトイレトーパーを買に行く傾向があるんですけど、プラス1個あれば大丈夫ではないかなと思えますし、北海道の場合は特にこの電気を使わないストーブ、これは必ず用意しておいていただきたいと思えます。買ってあるんだけど使っちゃってまよとか、あとそのストーブあるけど、燃料用意してないとかってパターンがありますので、慌てて使ってバタバタすることのないように、日頃からこれを家の補助暖房として使っていただければいいかなと思えます。避難情報の周

知、先ほど言いました。避難指示だとか避難所開設しましたよとかっていうのを帯広市からどんどん発信してるんですが、いろんな方法で周知してます。テレビ、ネット、ラジオ、携帯電話、スマートフォンですね。それから広報車ってあるんですけど、広報車は避難指示出す時とかにはちょっと向かないのである程度落ち着いてからの周知に使います。今こんな体制で情報発信しています。真ん中の黒い危っていうのが危機対策課なんですけれども、LINEとかYahooとかでいきます。LINEって言っても、帯広市の公式LINEに登録されてる方に行きます。それからYahooはYahooの普通のアプリとか防災とか天気とか、そういったもので地域情報で帯広を設定している方に届きます。このLINEとかYahooがすごいおすすめなのはアラートと同じで鳴ります。なので、なんか通知来たんっていうのは気づきますので、ぜひこちらに登録していただきたいと思います。その左下に緊急速報メールってあるんですが、これは何も登録しなくても強制的になります。これがアラートと同じ仕組みで、ただこれを毎回鳴らすことにはならないので、その前の段階でLINEとかYahooとかが良いので、ぜひ登録していただきたいと思っています。それからちょっと質疑応答というか、そういう時間も設けてるので、職場の防災ということで、皆さん多分事業所とかでいろいろ準備はしていると思うんですが、基本的に備えておくものとしては家庭と同じだと思っていただければいいと思います。事業継続に必要なのは、まず人がいなければどうにもならないということと、その人が過ごすための水食糧とかですね。それからその後、初めて電気とか通信環境ということになると思います。事業所によってBCPという事業継続計画とか業務継続計画と言われるんですけども、策定されているかと思いますが、それぞれの業種とかによって、その策定の雛形みたいのがあったりするので、それぞれはちょっとご説明できないんですけども、事業継続していく計画を作るポイントとしては、まず自分の周りの脆弱性リスクですね。これをしっかりと洗い出すということと、何があっても止められない事、コア事業。これをしっかりと絞り出すと言うところが大事になります。脆弱性というところでいくと、まず災害の時にどんだけ人が集まるんだらう、人がいなければ回らないと思うんですけど、それも一つの脆弱性だと思います。どんだけ人が出てこれるか、人が集まるのにどれだけ時間がかかるか、っていうことを想定しておいていただきたいのと、社屋の防災体制ですね。耐震の状況ですとか、電気の確保とか水とかそういったことをしっかりと把握しておいていただきたいと思います。それからコア事業というところで絶対に止められない事。逆に言うと切ってもいいお仕事って言うことを洗い出しておくっていうことは大事になります。最後になりますが、災害は被害を防ぐということではできません。ただ、そのために備えておくことで被害を減らしたり、それから災害に対する不安っていうことを減らして行くことができます。そのためには何を備えておくか、あれもこれもってやると結構大変だと思うんですけども、何を大事にするか、何を優先するかっていうことを明確にしておくことと、日頃から準備しておくということが大事になります。繰り返しますが、被害を出さないっていうことをやるのは、ものすごく大きなエネルギーがかかるのと、おそらく被害を出さないと頑張っても出さないって言う風に備え切るのは難しいと思います。ですので、被害を広げないというふうな考え方で取り組んでいただくと進みやすいのかなと思っております。私の方からは以上です。今日はもう本当に絞って駆け足でやってたんですが、こういった講座、企業にも出向いてやっております。こういった内容じゃなくても、例えば避難所運営ゲームっていうような形で、皆さんが避難所運営する側になってシチュエーションカードで配られて、その対応をやってく訓練があってですね。社員教育とかにも実際運営しなくてもいいと思うんですけども、限られた資源で迫られた状況の中で、どう判断して行くかっていう頭の体操にもなるゲームですので、そういったこともできます。是非いろんなお問い合わせご用命あれば危機対策課までご連絡いただければ、是非よろしく願いいたします。今日はありがとうございました。



謝辞

天野 清一 会長



本日はお忙しい中ありがとうございます。私たちが防災について、色々と新聞紙上で見ておりますけれども、実際問題災害に遭ったらどうなのか常に不安であります。先日勝毎に札幌シンポジウムで350周期から370周期で大地震が起きるという話もありました。今日は本当にタイムリーなお話をいただきまして誠にありがとうございました。